

エアロストリップ

特長

■ 消費電力が半減

酸素移動効率が高まる為、必要空気が従来の約1/2になり、送風機の消費電力、CO₂が削減できます。

■ 空気量の制御範囲が広い

■ 酸素移動効率が高い

1mm前後の超微細な気泡により気液接触面積が大きくなり、酸素移動効率が従来散気筒に比べ約2倍に向上します。

■ 設置が容易

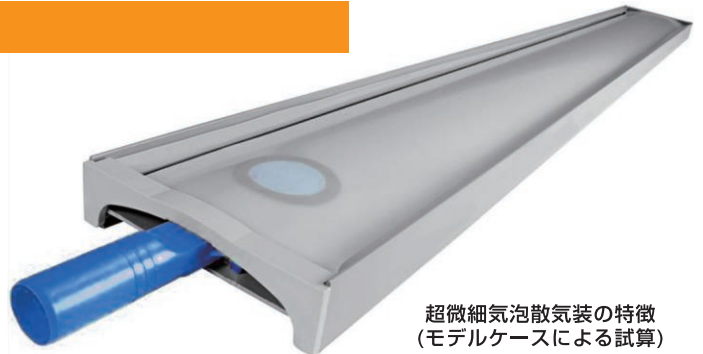
ユニット化により、従来散気装置の交換で行っていた曝気槽の水抜きを不要にした画期的なユニットです。

■ 数多くの実績

48カ国の地域での実績 : 約20.5万枚(日本除く)

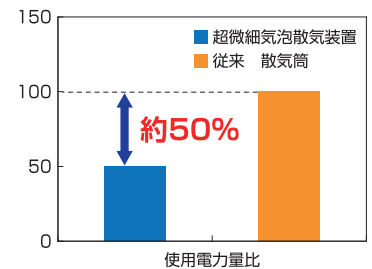
日本45都道府県での実績 : 約5.6万枚

※2011年データ



エアロストリップ

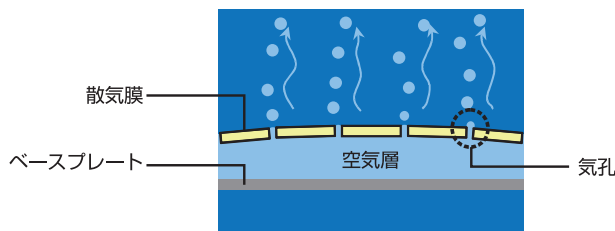
超微細気泡散気装置の特徴
(モデルケースによる試算)



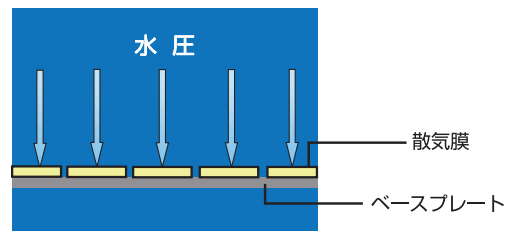
超微細気泡散気装置の構造

■ 目詰まりしにくい構造

- 空気供給によりメンブレン内圧が上がると、気孔部が開き微細な気泡が発生します。
- 空気供給停止時は、水圧によりベースプレートに密着して気孔部は閉じた状態になり、目詰まりが起りにくくなります。



通気状態



停止状態

ユニット型超微細気泡散気装置施工イメージ

■ 曝気槽の水抜きが不要

ユニット一体で曝気槽に投入する為、水槽を空にする必要がありません。

■ 設備稼働停止時間の最短化

施設の停止時間を大幅に短縮できます。

